

Good!



## イメージと結びつけるために 写真やムービーを撮った



ふせんを使いながら学習を進めていくと、段々と単語の絞り込みができるようになってきました。次の課題は、その単語を**どれだけ印象深く記憶できるようにするか**です。

単語帳や自分が記入したノートだけ見て学習を進めても、途中で飽きてしまいます。また、単語を機械的に覚えても、なかなか実際に使うイメージがわかりません。

日本語でも、見たことや聞いたこともない言葉を覚えるのは難しいですし、その言葉のイメージが全く浮ばないことと同じです。そんな言葉を使う場面もイメージできません。

ある日、僕が自分の車を点検に出したら、整備士さんから「ラジエーターから液漏れしています」と言われました。このラジエーターが何なのか知らなかったら、何が起きているのかわかりません。普段から車を運転していても、何という名前のどんな部品なのかの知識がなかったら全くわかりません。

そこで思いついたのが、映像で頭の中に叩き込むという方法です。ラジエーターも自動車のボンネットを開けて一度実

物を確認すれば、位置や形まで把握することができます。

機械が苦手な人なら、スマホで写真を撮り、詳しい人に画像を送って教えてもらえばいいのです。

英語の学習も同様で、**自分の使いそうな名詞(実物)の写真を撮り、データとして残しておけば、記憶に残って忘れにくい**ですし、そのときその英語がわからなくても、あとで調べたり、知っている人に聞けたりします。

僕は以前、お笑い芸人の小島よしおさんの「そんなの関係ねえ！」というネタを英語バージョンでやっている番組を観ました。小島さんは海外の方にも通じるように、「It doesn't matter!」と英語にしていたのです。

僕は、そのネタを一度観ただけで完全に覚えてしまいました。映像として強烈なインパクトがあると、一回観ただけでも忘れないものです。

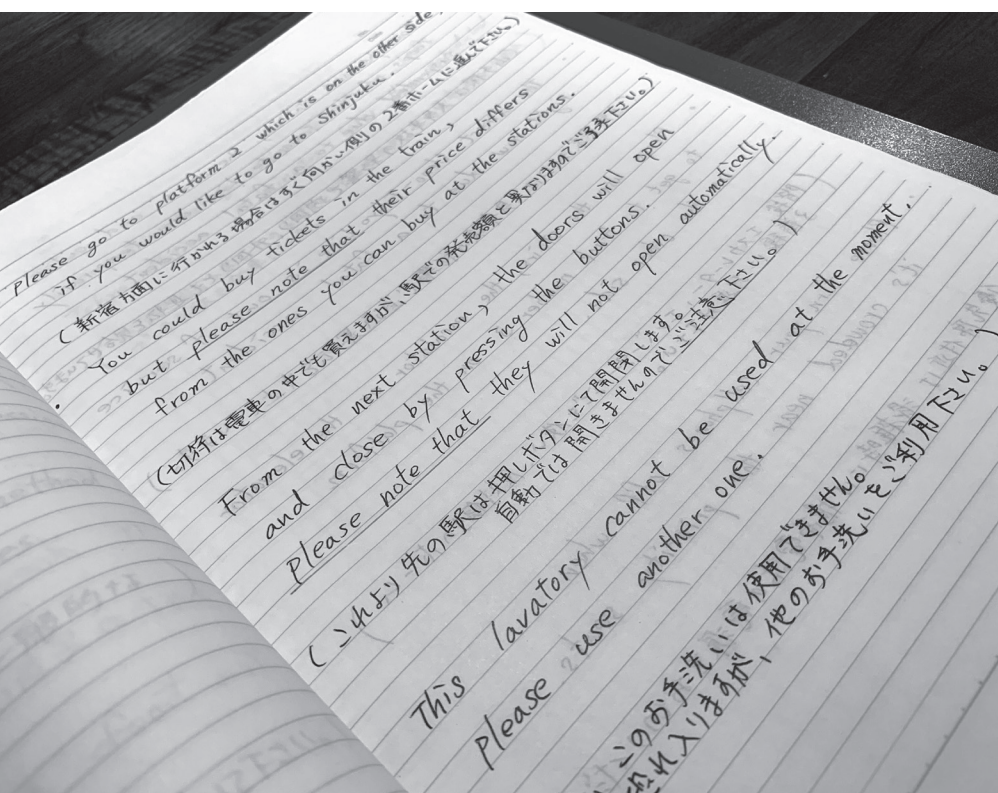
名詞は人やモノの名前が多いので形として存在します。僕は、スマホアプリの「LINE」(SNS)で自分一人のグループを作って、自分で撮った写真にコメントをつけてアップしていました。

スマホはいつでも身につけているし、すぐに撮影することもできます。みなさん、使わない手はないですよ！



Take care.

写真で  
紹介!



英語対応のために作ったノートです。

3

4

Good!

使う可能性のあるフレーズ  
からモノにしていった



まず僕は、**毎回使うものを優先して覚えていく**ことに注  
力しました。

最初から使用回数が少ないものまで必死に覚えるより、まずは  
使うものに注力した方が効率的です。車内アナウンスでよく使う  
のは次の3つです。

- 挨拶
- お礼
- 謝罪

この中でも挨拶とお礼は、電車では必ず入れるアナウンスなので、  
まずはこのフレーズから始めていくことにしました。

車内アナウンスでは、「おはようございます」「ご乗車ありがとう  
ございます」というフレーズを必ず使います。

僕は、電車のアナウンスの定番「ご乗車ありがとうございます」  
というフレーズについて、次のように覚えていきました。

まず英語フレーズを調べました。

- Thank you for using ~
- Welcome on board ~
- Welcome Aboard ~

僕にとっては Welcome on board ~ が一番しっくりきたので、  
冒頭のアナウンスでこのフレーズを使うことにしました。

この「board」は「板」という意味ですが、元々の由来は、船の甲板  
からきているそうです。多くの交通機関でも、「船のように、一つ  
の乗り物に乗ったクルーの一人」ということで使われています。

また発音がとても簡単でした。この「Welcome on board ~」  
の発音は「ウェルカモンボード」と聞こえます。

なぜ「ウェルカムオンボード」ではないのでしょうか？

「Wel」+「come on」+「board」と部分的に切り離すと、どうで  
しょうか？「ウェル」+「カモン」+「ボード」となります。よく使う  
「Come on(カモン)！」が出現しました。この「Come on(カモ  
ン)！」は日本語化していますが、別のフレーズが前後に加わると  
なぜかCome on(カムオン)と読みたくなってしまいます。でも、  
正しい発音で覚えていかなければ、英語での車内アナウンスは上  
手いきません。

僕はこのように、車内アナウンスで使うフレーズを決めて、発  
音を確認しながら覚えていきました。この作業で、また一層英語  
の上達が加速していきました。



## 第8章

英語アナウンスのためのトレーニングを始めた